



かしまホットニュース

鹿島市の最近の話題や気になる話題をご紹介します。No.14

市のホームページでもご覧いただけます

1. 駐日タイ王国特命大使が鹿島市へ！

佐賀市で開催された「タイフェアinSAGA2017」に伴い佐賀県を訪問された**駐日タイ王国特命大使**のバンサーン・ブンナーク氏が、鹿島市の祐徳稲荷神社を訪ねられました。市長をはじめ門前商店街や地元園児の皆さんが、タイ国の国旗を振って歓迎しました。大使は、地元の熱烈な歓迎や**タイ語で書かれたおみくじ**に感激されていました。祐徳稲荷神社は、最近、タイの映画やドラマの舞台となっていることから、**多くのタイ人**が訪れています。



来訪時の写真
(大使、右から4番目)

2. 県内を運行中！ラッピングバス！

市内への観光客を増加させるために、市の観光スポットをラッピングしたバスが県内を走行します。11月1日(水)には、**ラッピングバス**の出発式があり、大勢の参加者が鮮やかに描かれたバスに見入っていました。バスの側面には、白壁土蔵など歴史的町並みが残る**「肥前浜宿」**とラムサール条約登録地である**「肥前鹿島干潟」**を、背面には、鹿島市の一大イベントである**「鹿島酒蔵ツーリズム®」**が描かれています。バスは、路線バスとして、佐賀市や武雄市、嬉野市などへの路線を走行して、鹿島市の観光PRに貢献してくれます。



運行するラッピングバス

3. 郷土に愛着と誇りを！講演会好評！

鹿島市や近隣市町に所在する鹿島実業高校、白石高校、塩田工業高校の生徒に、「日本における人口問題の現状と佐賀県の状況」について分かりやすく説明をする講演会が生徒や先生たちから好評を得ています。講師は、今年7月から地方創生推進のために財務省から市へ出向している職員(納塚真琴さん)が務め、講演では、**世界に誇れる技術を持つ鹿島市の企業**の紹介なども説明しています。生徒からは、「**鹿島には世界にも通用するものづくりがあって驚いた**」「**地元に残って就職しようと思った**」「**地元愛が深まった**」などの感想をいただき、郷土教育としても非常に大きな役割を果たしています。この講演を通して、生徒たちが郷土に愛着を持ち、人口流出に少しでも歯止めがかかればと期待しています。



「講演会(鹿島実高)」の様子

4. 牡丹餅のように粘り強く！牡丹餅会！

鹿島高校と**鹿島実業高校**の3年生がお互いの健闘を誓い合う**「牡丹餅会」**が10月20日(金)に鹿島高校の体育館で開催されました。「牡丹餅会」は、**第13代藩主鍋島直彬公**が鹿島中の教諭と生徒を邸内に招いて、牡丹餅を振舞って健闘を祈ったことが始まりで、今年で**105回目**となります。当日は、生徒による日本舞踊やピアノ演奏、高校対抗の綱引きが行われ、大いに盛り上がり、最後には、両校の生徒が混ざって牡丹餅を食べ、高校の垣根を越えて絆を深めていました。



「牡丹餅会」での日舞披露

5. 東京で鹿島市PR！「佐賀さいこう！応援団」交流会参加！

10月30日(月)に、東京都白金台の「八芳園」において、「**佐賀さいこう！応援団**」交流会が開催されました。「佐賀さいこう！応援団」は、首都圏での佐賀県情報発信の強化、県産品の販売強化等を目的に、「佐賀が好き、佐賀を応援したい」という思いを持つ方々で昨年結成されました。当日は、樋口市長も出席し、**約500人**の参加者でにぎわいました。鹿島市のPRブースでは、観光や物産紹介のほか、人的ネットワークの構築のため、PR活動をおこないました。



鹿島市のPRブースの様子



鹿島は色々なことに取り組んでいます。全国の方に鹿島を知ってもらうために、みなさんも、SNSで広めてください。